

事業報告

講座名	環境学習講座「山口県を日本一キレイな地方に！」		
日時	令和7年5月24日（土） 9:00~15:00 13:00~15:00		
場所	・山口市美濃ヶ浜海浜広場 中止 ・セミナーパーク研修室103	参加者数	21人

1 概要

テレビ番組で放送中の県内各地の沿道のごみ拾い活動から感じた「ポイ捨てごみ等の現状や課題」についてのメガネ山口さんの講演や、自治会と連携した海岸清掃活動を体験することで、県民の環境美化意識を育み、今後の実践活動につなげることを目的とした講座だったが、残念ながら当日は雨で海岸清掃活動が中止、午後の講演のみとなった。

[講師 山口県 YouTuber&ローカルタレント メガネ山口さん]

(1) 講演

まず、メガネ山口さんは「自分のごみの専門家ではない」としつつ、自己紹介とごみ拾い活動の経緯について話された。

ごみ拾い活動は毎回5時間は撮影、その後編集され、tys テレビ山口の夕方番組「mix」で県内各地をキレイにする『G0(ジーゼロ)大作戦』（隔週月曜日）として10分程度放送されている。2021年4月、岩国市から始まったこの企画は当初1回限りの予定が、あまりのごみの多さに継続となり、現在4年以上がたつ。海沿いに山口県をなぞり、今月は阿武町でのごみ拾い、8月には島根県境に到達する予定である。これまで拾ったごみは2トン、これは海沿いのみであり、県内（山の中など）にはもっと多くのごみがあるとのことだった。

次に、番組内容をまとめた動画（周防大島町の海岸沿いのごみ拾い）を視聴した。たまたま海岸に居合わせた地元の方々が飛び入り参加して、皆で協力して大量の海ごみを回収する場面や、「ごみ拾いに参加した人はごみを捨てない」という協力者のコメントが、受講者の心に響いたと思う。

また、「道路沿い」と「海岸沿い」でそれぞれどんなごみが多かったかを考えるクイズでは、意外なものに受講者が驚く場面もあった。

○道路沿いのごみで多かったもの

第1位：タバコ 第2位：ペットボトル・空き缶(7割酒)

第3位：菓の包装紙

○海岸沿いのごみで多かったもの

第1位：ペットボトル 第2位：プラスチック 第3位：流木

なお、講師によれば、茶色の液体が入っているペットボトルは「おしっこ」であることが多く、危険物扱いになる可能性もあるため回収には各自治体への確認が必要となる。「絶対拾うな！」と講演時には伝えていますが、受講者によってはごみをそのままにしておくことへの抵抗感も見受けられた。

最後にまとめとして、ごみ(例：ペットボトル)はそのものの役割を終えた(飲み切った)直後にごみになること、たった1回の「面倒くさい、ここに捨てちゃえ」という思いがごみとなって長い年月残ってしまうこと、1人1個でも毎日皆でごみを拾うという積み重ねが重要であること、ポイ捨てした人に声掛けや注意をせず、ぐっとこらえて自分がそのごみを拾うことなどを皆で共有し講演は終了した。

その後の質疑応答では、受講者が疑問に思ったこと、勉強になったことなどについての質問が出た。講師のごみ拾い体験を踏まえた丁寧な回答に頷いたり、時には番組の裏話に笑ったりしながらの充実した内容となった。

(2) 受講者の反応

小学生から80代までの幅広い世代が参加した今講座のアンケートでは、「ごみの実態などを詳しく知ることができて参考になった」、「拾わない方がよいごみ、引き取ってもらえないごみがあることがわかり勉強になった」との意見が多かった。また、「海岸でごみ拾いがしたかった」と言われる方も多く、午前の清掃活動中止は大変残念であった。

<写真>

